



No10

【3】

 全体のテーマ

・この一節は、ニューメキシコという土地が持つ独特の魅力について論じています。筆者は、当初は短期間の滞在を予定していたにもかかわらず、この地に強く惹かれて移り住むことになった自らの経験を通して、多くの旅行者が計画を変更し、滞在を延長、さらには定住に至る現象を紹介しています。土地の力が人間に与える影響の大きさと、理性では割り切れない心の動きを描き出しています。

---

 全訳

・もし私が意図した通りニューメキシコに住み続けるなら、私は今よりずっとそれをよく知るようになるだろう。しかし、最初の一年の間ほど明確にそれを見ることは、二度とないだろう。そして、この土地には、旅行者に予定変更や滞在延長を促す何かがあるのだろうか。さらに強く言えば、見物に来た無数の人々を惹きつけ、荷物を置いてそのまま定住させてしまうような力があるのだろうか。それは、私自身にも起こったことだ。私はここに住むつもりなどまったくなかった。8月末、私たちはコネチカット州の村を出発し、ハリケーンの中を車で走った。妻と三人の子どもたち、軽い荷物11個を持ち、ニュー・ロンドンが洪水に見舞われていてもハートフォードで列車に乗れると信じながら、私たちは一年間の旅に出ようとしていた。私は、それまでの四十年以上をニューイングランドで過ごしてきたため、変化を求め、南西部を見てみたいと思ったのだ。

---






 第1文

If, as I intend, I go on living in New Mexico, I suppose I shall know it far better than I do now, but I suppose I shall never again see it as clearly as during my first year.

もし私が意図した通りニューメキシコに住み続けるなら、私は今よりずっとそれをよく知るようになるだろう。しかし、最初の一年間ほど明確にそれを見ることは、二度とないだろう。

---

## ■ 解説ポイント:

-  if 節の中に as I intend(挿入句)が入り、「意図通り」という補足説明をしている。
-  go on Ving(熟語表現)→「Vし続ける」。
-  far better than(比較級強調)→ far は比較級(better)を強調して「ずっと良く」という意味を加える。
-  see it の it は New Mexico(ニューメキシコ)を指している。
-  but で二つの主節(I suppose 節)を並列接続している。

✔ I shall never again see it as clearly as during my first year

→ as～as 構文。最初の一年の明瞭さと比較している。

---

### 🔍 第2文

And what is there about this land which sets travelers to altering their schedules and overstaying?

そして、この土地には、旅行者に予定変更や滞在延長を促すような、どんな力があるのだろうか。

---

#### ■ 解説ポイント:

✔ what is there about this land(疑問文構造)→「この土地にはどんな特徴があるのか」。

✔ which は関係代名詞で先行詞 this land を修飾。

✔ set O to Ving(動詞構文)→「OにVさせるよう仕向ける」。

✔ travelers を O、altering their schedules / overstaying を Ving としている。

✔ and で「altering their schedules」と「overstaying」の動名詞句の並列。

---

### 🔍 第3文

What is there, more forcefully still, that has seized upon astonishing numbers of people who came to look, and then put down their luggage and remained?

さらに強く言えば、見物に来た無数の人々をとらえ、荷物を置いてそのまま住み着かせたものは、一体何なのだろうか。

---

#### ■ 解説ポイント:

✔ what is there(疑問文構造)→「何があるのか」。

✔ more forcefully still(副詞句)→ still は「さらにいっそう」の意味を加え、forcefully (強く)をさらに強調している。

✔ that は関係代名詞で what を先行詞に説明。

✔ who came to look(関係詞節)→「見物に来た人々」。

✔ put down their luggage and remained→ andによる動詞の並列(put down / remainedの二動作を接続)。

---

### 🔍 第4文(最重要)

As it has upon me.

それは私にも同じように起こった。

---

■ 解説ポイント:

✔ この文は、直前の文

”What is there... that has seized upon astonishing numbers of people...” の内容を受け、「その影響が自分にも及んだ」と言うための文。

✔ 文構造:

- As(接続詞)
- it has upon me(主語+動詞+前置詞句)

✔ As it has upon me は、→ 正式な完全文に直せば ”It has seized upon me, too.” つまり、「それは私にも(この地に惹かれる現象が)起こった」という意味。

✔ Asは「~のように」、itは this land(この土地の魅力)を指している。

✔ upon me は、「(強い影響が)私に向かって降りかかった」ニュアンスを含む。

---

🔍 第5文

I had no intention of living here.

私にはここに住む意図はまったくなかった。

---

■ 解説ポイント:

✔ have no intention of Ving(熟語表現)→ 「Vするつもりはない」。

✔ have no intention of living here = intend to live here の否定形に相当する。

✔ 過去完了 had no intention

→ 過去のある時点よりもさらに前から「住む気がなかった」ことを強調。

---

🔍 第6文

When in late August we drove through—a hurricane out of our Connecticut village — my wife, three of my children, with eleven pieces of lightweight baggage, and trustful that though New London was flooded we might get a train in Hartford — we were leaving for a year.

8月末、私たちはコネチカット州の村を出て、ハリケーンの中を走り抜けた。妻と三人の子どもたちと、軽い荷物11個を持ち、ニュー・ロンドンが洪水に見舞われていたにもかかわらず、ハートフォードで列車に乗れるだろうと信じながら、私たちは1年間の旅に出ようとしていた。

---

■ 解説ポイント(さらに精密版):

✔ 文の構造全体

- When 節(従属節)  
→ When in late August we drove through — a hurricane out of our Connecticut village — my wife, three of my children, with eleven pieces of lightweight baggage, and trustful that though New London was flooded we might get a train in Hartford —

ここまでがすべて When 節(時間を表す従属節)！主節(独立節) → we were leaving for a year.

✔ When 節の範囲

- When+副詞句(in late August)+主語 we+動詞 drove through
- さらにその後ろにダッシュで詳細情報を付加(hurricane~baggage / trustful~Hartford)

✔ ダッシュ(—)による挿入説明

- a hurricane out of our Connecticut village:  
→ 「私たちのコネチカット州の村を出発したときの状況(ハリケーンの中)」
- trustful that though New London was flooded we might get a train in Hartford: → 「ニュー・ロンドンが洪水でもハートフォードで列車に乗れると信じて」

✔ 主節:we were leaving for a year.

- 「私たちは一年間の旅に出ようとしていた」
- 進行形(were leaving)は、「未来の予定」を表す進行形の用法。

🔍 第7文

I had lived all my more than forty years in New England, I wanted a change, and I wanted to see the Southwest.

🔍 和訳

私は四十年以上にわたる人生のすべてをニューイングランドで過ごしてきたため、変化を求め、南西部を見たかったのだ。

■ 解説ポイント:

- ✔ had lived(過去完了形)→ それまでの生涯を表す。「今までずっと~だった」というニュアンス。
- ✔ wanted a change / wanted to see the Southwest→ and で並列され、二つの希望が並んでいる。
- ✔ the Southwest→ アメリカ南西部を指す(地名)。